

学校番号	24	学校名	静岡県立伊豆の国特別支援学校伊豆下田分校	校長名	松本 仁美
------	----	-----	----------------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標 「良さが輝き 未来をひらく」

一人一人が確かな学びを積み重ね、仲間や地域とつながりながら、自分の良さを生きる力へと輝かせ、夢や希望をもち、自ら未来をひらく（「開く」「拓く」「啓く」）人を目指す。

(2) 目標具現化の柱

〈安全・安心〉命と健康を守り、人権を尊重し、一人一人を大切にする学校

〈専門性〉確かな力を積み上げ、一人一人の良さを引き出す学校

〈連携〉保護者や地域と連携し、児童生徒の社会参加を目指す学校

〈チーム学校〉教職員が主体的に学校づくりに参画する学校

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
安全・安心	安全で安心した生活ができる環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルによる危機管理・安全体制づくりと周知徹底 実際の、体験的に取り組む防災、健康、安全教育 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時にマニュアルに沿って実際の場面で生かすことができた。 緊急時対応の研修会や訓練を実施し、重大事故0件 	防災課 健康課 教務課 学習指導課
	児童生徒の人権が尊重された教育活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 月ごとの人権目標、シートの有効活用と学部集会の実施 自他を大切にするコミュニケーション、道徳指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 人権に配慮した適切な関わりや支援が学校生活や授業で実施できた 	各学部 学習指導課
専門性	児童生徒が思考しながら取り組む国語・算数の授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ラーニングマップを活用して適切な指導目標と指導内容を設定した授業実践を積み重ねる 一人一授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が何を学び、どのような力を付けたのか明らかにできた 	自立活動課 （研修）
	児童生徒が良さを発揮できる学習活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 系統性と教科横断的な視点を押さえた年間指導計画の実施・評価・改善 児童生徒理解に基づいた個別の指導計画の作成と活用 ICT機器の授業での有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画の見直し、改善から授業の根拠を確認できた 教員間で話し合っって作成し、目標や評価について保護者と共有できた ICT機器やアプリ等を活用した授業ができた 	教務課 自立活動課 （自立） 学習指導課
連携	賀茂地区関係機関や地域とのつながり及び地域の力を高めるセンタ	<ul style="list-style-type: none"> 校内外における支援状況の把握と対応についてのケース会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 依頼に応じた支援ができた 関係機関と連携したサ 	地域連携委員会

様式第1号

	一的機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動や取り組みの計画的な発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートができた ・HPや学校公開等、計画的に実施できた 	企画会
連携	地域の学校や地域とつながる活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに学びがある交流及び共同学習の体制を構築と計画的な実施 ・地域資源を積極的に活用し、地域とつながりのある活動を実践する 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流校との連携を図り、互いに学びのある交流が計画的に実施できた ・地域資源を活用した授業が実践できた 	共生教育推進委員会 各学部
チーム学校	「チーム下田」による信頼される学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・働きがいのある学校にするための業務改善の推進 ・研修の充実と専門性向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善や互いに協力しあって仕事があった ・学んだことを指導や支援に活かすことができた 	各学部 各分掌